

「業研」企業視察のお知らせ



- ◆ 右手に使命、左手にソロバン、
- ◆ 度重なる苦境を乗り越え、30年間黒字経営。

— 野菜生産企業「サラダコスモ」に見る「強さと良さ」—

岐阜県中津川のユニークな野菜生産企業、サラダコスモさんを視察します。土を使わず、水栽培による野菜を作っています。「農業経営は儲からない」の常識を打ち破る、設立以来30年間黒字経営で現在売上高63.7億。XX割近い粗利率の経営には、オンリー1、日本初の商品開発や取組みが沢山あります。従来の農業では考えられなかった独自の流通網での直販。安心・安全のための無漂白もやし。かいわれ大根など発芽野菜の生産、日本初のちこり栽培等々。24時間操業の4000坪の野菜工場をたった一人で管理する生産性の高さも、利益率を上げている要因です。

しかし、様々な苦境を乗り越えてきています。無漂白・無添加もやしは、当時の常識を覆す、問屋を通さない直販。お父様が倒れて継いだ中田社長は、素人経営。もやしの売上の伸びに対応すべく工場増設するも、資金繰りは手形。計画性のない経営に銀行が融資に見切りを付け、手形が不渡り寸前になり、黒字倒産の危機を経験。また、O-157事件の時には、無農薬カイワレ大根の種の自社生産にこぎつけたところに、この事件で会社の存続危機の大打撃。「ピカピカ（一流）の商品をひとつ大事に育てていけば良い」から、「一流の商品を沢山育てられる会社が、本当に強い会社」と気付いたそうです。

その経営の目指すところは、顧客本位の安全・安心・健康。社会貢献、地域貢献。新規事業の教育観光生産施設「ちこり村」には、地元農家の主婦にレストラン経営を提案、大繁盛。

また、中田智洋社長の事業経営の志は高く、日本の食糧自給率の低さ、特に岐阜の自給率の低さを懸念し、政府に先立ち、食糧危機確保のためにアルゼンチンの日系農家と提携して、大豆の輸入に取り組んだのは、今から10年も前。その活動を、つい先日、国連食糧農業機関で報告なさいました。

自社の継続発展の為に、最近では従来の社員教育に加え、幹部による優秀な新卒採用に非常に力を入れています。紅葉の美しい頃だそうです。ぜひ、皆さん、日程を調整して頂き、後継者・幹部の方とご参加ください。



途中参加も可能です！

視察日: 2010年11月2日(火)

集合時間: 11時

集合場所: JR中央本線「中津川」駅改札(岐阜県)

会費: XXXXXXXX円

* 昼食代を含みます。

* 含まないもの: 中津川駅から視察企業へのタクシー代。懇親会費・宿泊費に関する費用は、ご希望者のため含みません。

◆費用の目安

・ 駅→(¥2000) 工場→(¥3000) 本社のタクシー移動代を
ご同乗者で割勘をお願いします。

・ サラダコスモ→懇親会会場(送迎車) 参加者が15人未満の場合には約¥5,000を割勘。それ以上は無料。

・ 宿泊費(懇親会+朝食付き): ¥15,000から

* 同室人数により異なります。(税サ・入湯税別)

・ 懇親会のみ(懇親会+入浴): ¥7,125(税サ・入湯税込)

解散: 現地解散

問い合わせ先: 03(3718)0224 松浦まで

希望者のみ

視察スケジュール(予定)

11:30 工場「サラダ農園」到着・視察

12:30 タクシーで移動

13:00 教育観光生産施設「ちこり村」視察

13:30 農家の主婦が経営するレストランで昼食

14:30 中田智洋社長講話・質疑応答

渡辺英幸総括

17:15 終了(1次解散)

17:30 ご希望者、懇親会会場へ車で移動
(漆黒の闇、行燈の灯る妻籠経由)

18:05 「ホテル木曾路(裏面も参照して下さい)」到着

18:30 懇親会

20:30 終了(2次解散) ご希望者そのまま宿泊・各自で翌朝チェックアウトして下さい。



「業研」企業視察

(株)サラダコスモ会社概要

<http://www.saladcosmo.co.jp/company/>

(岐阜県中津川市・JR中央本線中津川駅より車で10分・中津川ICより車で3分)

■創業 1945年 ■法人設立 1980年—本業のラムネ生産のオフシーズンの副業として、もやし製造を始めたのが始まり。
 ■事業内容 野菜づくり農業—スプラウト野菜(ぎやば発芽大豆、アンティープ国産ちこり、ブロッコリー新芽、かいわれ大根、空心菜新芽、もやし等)。安心・安全・健康をテーマに、農業や化学肥料を基本的に使用しない栽培に挑戦している。
 ・日本初ちこり焼酎製造販売 ・教育型観光生産施設「ちこり村」運営(ちこりの国産化を通して、食糧自給率の向上、休耕地の有効利用、高齢者雇用、地元の地域活性化などに貢献する事業) ■売上高XXX億円 粗利率XX割近 経常利益率約XX割 ■従業員正社員103人 パートアルバイト300人 ■経営理念—『自分も社員もお客様にも社会にも「嬉しい、楽しい、役に立つ」』 ■中田社長の口癖—『母親が子供を思う気持ちでいたい』 ■強さ—社員の資質の高さ。ちこりなど輸入不可能な生産物のため輸入品との競争がない。食の安全に関わる品質・品質管理が高い。生産・企画・営業が自社内で行える。 ■良さ—食の安全の取り組みを顧客から評価されている。「ちこり村」の活動が、お客様・行政・地元から支持されている。 ■工場—中津川サラダ農園、信州第1・2工場、宇都宮工場、三木生産センター ■2011年上海近郊新工場建設予定 ■1995年ニュービジネス協議会「アントレプレナー大賞」受賞・2007年高年齢者雇用開発協会「高年齢者雇用開発コンテスト」独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構部門別賞(新職場創設)受賞

中田社長語録

◆『ひとの真似するなんて、そんな恥ずかしいことできない』 ◆『僕たちは「ウサギとカメ」の「カメ」。ウサギはカメを見て、昼寝したりしてるけれど、僕たちは、そんなの見ないもん。ただ、ゴールをみて歩いているだけ。自分達が掲げたゴールが自分達の目標であり、幸せ。他社がいくら儲けているとか、伸びているとか、そんなの比べないから、楽ですよ。』 ◆『製品シェアが例え業界の1%であっても、他の99%に影響を与えられればいいじゃないか、と思っています。』 ◆『撤退?したくない。僕はあきらめない。まだやめないの?と言われる。しつこいんでしょうね。それだから、失敗もしない。成功するまでやるから。』 ◆『粗利率7割近く、自己資本比率42%でも、農業経営は本当に厳しい。でも、僕は意義深い事業だと思っています』 ◆『転んでもただでは起きない、といいますが、転んだ時は起きることだけに専念した方が良くと思うのです。起き上がった時に必ず何か得るものがあると思うからです。』



中田社長

お申込書(10月3日(日)✕)

FAX 03-3718-0225

matsuura@k-gyomu.co.jp

①会社名: 氏名:

お役職名:

携帯電話番号: — —

*本視察での緊急連絡以外は使用しません。

懇親会(「ホテル木曽路」): 参加 不参加

宿泊手配(「ホテル木曽路」): 必要 不要

*相部屋になります

自家用車利用(中津川駅集合)

②会社名: 氏名:

お役職名:

携帯電話番号: — —

*本視察での緊急連絡以外は使用しません。

懇親会(「ホテル木曽路」): 参加 不参加

宿泊手配(「ホテル木曽路」): 必要 不要

*相部屋になります

自家用車利用(中津川駅集合)

◆「ホテル木曽路」(長野県)(中田社長推薦旅館)

◆最寄駅「JR中央本線 南木曽駅」より車で15分。視察先「中津川」から車で35分。シャトルバスあり。<http://www.hotelkisoji.jp/>

◆素人経営から「めざましテレビ」で温泉グランプリに選ばれた人気の宿(露天風呂・150tの石をくりぬいた石風呂・地ビール製造)。もとは、茶碗の上薬用の砂の採掘業で、岩に含まれる薬の含有量が近辺では最も多かったようですが、採掘で山がなくなりホテル経営へ進出。部屋代は同室人数により異なります。旅館のため相部屋になります。

問い合わせ先: 03 (3718) 0224 松浦

株式会社 会社業務研究所

〒152-0023

東京都目黒区八雲2-8-15

電話 03 (3718) 0224

FAX 03(3718)0225

Email: matsuura@k-gyomu.co.jp